

成果の説明書

(氏名) 黒川基裕	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>当該年度は、下記の研究を推進した。</p> <p>1. Thailand: Consumption of Creative industry goods</p> <p>タイ国の大学生を対象として、ライフスタイルおよびクリエイティブ産業関連商品の消費動向についてデータを収集し、分析した。2018年にも同様の調査項目を含んだ調査を実施しており、経年変化を含めた分析も実施した。</p> <p>2. Thailand: Contribution of design and brand value to the price setting of 1t-pick up vehicle</p> <p>自動車の価格設定においては、競合製品の価格や市場の相場感に依存しているのが現状であるが、走行性能・乗り味・搭載機能・デザイン・ブランド価値などが価格設定にどれだけ寄与しているのかを分析し、特にデザイン・ブランド価値の寄与度からデザインの経済的価値を考察しようとした。本研究では、各車両への評価データを収集する方法として試乗会の実施を採用したが、車両の収集、整備、評価者の招集など実査上の課題が明らかとなり、今後の実査における知見を得られた。</p> <p>3. Myanmar: Non-income segmentation of BOP group</p> <p>2018年度からBOPビジネス案件組成用のプロジェクトサイトを有しているミャンマーにおいて、BOPグループへのより精緻なアプローチを実現するために所得水準以外のセグメンテーションが成立可能か検討した。本研究では、首都ヤンゴンを取り巻く11の郡区をフィールドとして約500サンプルのアンケート調査（訪問調査法）を実施し、サンプルを所得水準別および地域別に分類した上で、どちらの方が強い差異を示すことになるのかを分析した。（Khin Sandar Thein, National Degree College of Myanmarとの共同研究）</p> <p>4. Myanmar: Scaling potential demands on BOP products by CVM and PSM</p> <p>BOPグループへの潜在需要調査は、開発課題の洗い出しやコンジョイント分析などを中心とした潜在需要調査に依存しているところ、価格設定により貢献する調査結果を獲得するためにCVMやPSMの分析手法が有効かどうかを分析した。本調査では、クッキングストーブと浄水器のサブスクリプションサービスをサンプルとして、それらへの支払い意思を確認する方法で実施した。今後は、CVM・PSM両分析を同時に実施する際の課題をよ</p>	

く抽出し、新しい分析枠組みの構築につなげていきたい。(Khin Sandar Thein, National Degree College of Myanmarとの共同研究)

5. Ghana: Capability of Ghanaian designers

アフリカのガーナ共和国をフィールドとして、アグロインダストリー振興に資するローカルデザイナーの能力構築についての研究を推進しており、その第1段階として、主要なデザイン系大学の学部生の能力測定を実施した。本研究では、サンプル収集を実現する手段として学生向けデザインコンペを3大学において実施し、120名の学生応募を受け付けることができた。今回の分析では、通常採用されるデザインの総合的評価にとどまらず、パッケージデザインの能力をより詳細に測定する評価指標を独自に開発し、また1次審査を通過して学生向けに、パッケージデザインに関するオンデマンド講義のコンテンツを開発し、2次審査に向けて作品の向上を図る機会を提供した。(伊藤真一・武蔵野美術大学との共同研究)

その他、継続中のBOP製品の商品企画・開発に関しては、無煙クッキングストーブについて改良モデルによる実験データの収集(有限会社山崎製作所による協力)、環境性能の測定(地域政策学部・飯島研究室と共同)を実施した。またヒ素除去対応型の浄水器については、これまでの商品企画プロセスを取りまとめ、今年度より群馬県立産業技術センターとの共同研究体制を構築し、プロトタイプの実験を実施した。

2 その他の事項

ミャンマーで実施してきたプロジェクト推進の代替地としてインドネシアで新しいプロジェクトサイトを設置するため、政府関係者らとの交渉を推進した。

3 次年度以降の計画・抱負

タイ・ミャンマー・ガーナをフィールドとした研究で多くのデータを収集し、速報版をまとめることができたため、それらを論文として報告できるようにしたい。